

文集百首全釈 正誤表 (1/2)

頁・行	誤	正
四・16	近・ロ・ニ	近・ロ・2
五・14	丙A・11・82・28	丙A・1・11・82・28
八・6	：・一九九二年	：・一九九二年、日本詩人選11『藤原定家』筑摩書房・一九七七年
八・17	『連歌と中世文芸』	金子金治郎博士古稀記念論集編集委員会編『連歌と中世文芸』
九・2	一九七八年	一九八三年
九・3	一般教育学部	一般教育部
九・13	『中国四国教育学会教育研究紀要』43巻2部	中国四国教育学会『教育学研究紀要』第二部・43巻
九・15	五月	九月
九・16	古稀記念論文集	古稀記念論集
一〇・1	『文集百首』に：	『文集百首』に：
一七・3	人ぞ知る	人ぞくむ
二二・3	(源氏注(奥入・紫明抄・河海抄)・312・竹河)	(源氏注(源氏積・奥入・紫明抄・河海抄)・312・竹河/323・椎本)
二二・5	(源氏注(奥入)・312・竹河)	(源氏注(源氏積・奥入)・312・竹河/323・椎本)
二二・12	袖に	袖の
三四・16	積もるなり	積もるより
五一・6	裁ちかえて	裁ちかへて
七五・1	かとは	とかは
七六・10	なむ	らむ
八五・10	『夏のしげき梢』	『しげき梢』
八五・11	この	夏の
八六・1	102	97
八九・8	おる	をる
一〇三・7	『夕暮れ』を	本百首中、『夕暮れ』を
一〇八・19	1239	1329
一〇九・13	ばかりは	ばかりや

頁・行	誤	正
一一三・7	よりも身にぞしみぬる	よりも身にぞしみける
一二四・5	1507	1574
一四八・14	なかきき	なかき
一六一・12	(275)	(275)等
一六二・1	(同・3104秀歌百首草/3624・建保院百首)	(同・3104・秀歌百首草、3624・建保院百首)
一六六・17	(同・1242・…)	(拾遺愚・1242・…)
一六九・18	嘍	嘍嘍
一七〇・5	3372	3378
一七六・10	飄 ^か へる	飄 ^か へる
一八二・7	向かふる	迎ふる
一八三・5	秋の聞き渡る	秋を聞き渡る
一八八・13	306	305
二二九・2	殷大輔	殷大輔*
二五七・2	雨	雨の
二六〇・18	【八八】…と詠む。	削除
二六三・5	しるや月 ^川 かに冷	しるや ^川 かに冷
二六五・7	2876	2875
二六五・12	3715	2179
二七四・7	漏るる	濡るる
二七四・11	漏らす	濡らす
二七八・4	月と雪とを	雪と月とを
二七九・3	五一段	四九段
二九五・17	二五例	二四例
二九六・5	見てしかな	見てしかな
二九六・11	いにしへの	いにしへの
三〇〇・9	拾遺愚	拾員外
三一三・18	36	35
三四七・4	勅撰集初出も	四季歌での勅撰集初出も
三四八・18	一九九一年	一九九四年

